

II 畜産物の価格安定業務

1 指定乳製品

(1) 概況

ア 乳用牛の飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は、昭和 38 年の 41 万 7,600 戸をピークにその後毎年減少し、平成 21 年 2 月 1 日現在では前年に比べて 5.3%減の 2 万 3,100 戸となった。近年における戸数の減少は、経営者の高齢化と後継者不足等によるものに加え、飼料価格の高騰など酪農情勢が厳しさを増していることから、小規模層を中心に離農するケースが増えたことが主因と考えられる。

次に、飼養頭数について見ると、飼養戸数の減少を反映して、前年に比べて 2.2%減の 150 万頭となった。飼養戸数の減少と規模拡大傾向を反映して、1 戸当たりの飼養頭数は、前年の 62.8 頭から 64.9 頭とやや増加した。(第 5 表参照)

第 5 表 乳用牛の飼養戸数・飼養頭数

区分 調査年月日	飼養戸数		飼養頭数		1 戸当たりの飼養頭数	
	戸数 (千戸)	前年比 (%)	頭数 (千頭)	前年比 (%)	頭数 (頭)	前年比 (%)
20. 2. 1	24.4	96.1	1,533	96.3	62.8	100.2
21. 2. 1	23.1	94.7	1,500	97.8	64.9	103.3

資料：農林水産省「畜産統計」

イ 生乳の需給

20 年度の生乳生産は、指定生乳生産者団体による増産型の計画生産の下、北海道が前年度比 102.1%となったものの、都府県が同 96.2%と減少したことから、全国計で同 99.0%となった。

次に、牛乳等向け生乳処理量について見ると、大部分を占める牛乳の需要が年度を通じて不調であったことから、同 97.9%と前年度をやや下回った。(第 6 表参照)

第 6 表 生乳生産と用途別処理量

(単位：千ト、%)

区分 年度	生乳生産量		処 理 内 訳					
			牛乳等向け		乳製品向け		その他向け	
	数量	前年度比	数量	前年度比	数量	前年度比	数量	前年度比
16	8,285	98.6	4,902	97.7	3,301	100.0	81	95.3
17	8,293	100.1	4,738	96.7	3,472	105.2	82	100.6
18	8,088	97.5	4,620	97.5	3,389	97.6	82	99.7
19	8,024	99.2	4,509	97.6	3,432	101.3	83	101.9
20	7,944	99.0	4,412	97.9	3,453	100.6	80	96.1

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

ウ 指定乳製品の生産量

生クリーム等・チーズ向け生乳処理量の増加等による特定乳製品向け生乳処理量の減少に伴い、20年度のバターの生産量は、前年度比95.6%とやや減少し、脱脂粉乳の生産量も同90.6%とかなりの程度減少した。全脂加糖れん乳は同105.3%とやや増加したが、脱脂加糖れん乳は同99.7%とほぼ前年並みとなった。（第7表参照）

第7表 指定乳製品の生産量

（単位：トン、%）

区分 年度	バター		脱脂粉乳		全脂加糖れん乳		脱脂加糖れん乳	
	数量	対前年度比	数量	対前年度比	数量	対前年度比	数量	対前年度比
16	80,555	98.8	182,656	99.1	35,253	106.5	5,933	98.1
17	85,467	106.1	189,737	103.9	32,282	91.6	6,723	113.3
18	78,001	91.3	177,036	93.3	36,112	111.9	6,053	90.0
19	75,058	96.2	171,441	96.8	36,453	100.9	6,140	101.4
20	71,755	95.6	155,386	90.6	38,395	105.3	6,119	99.7

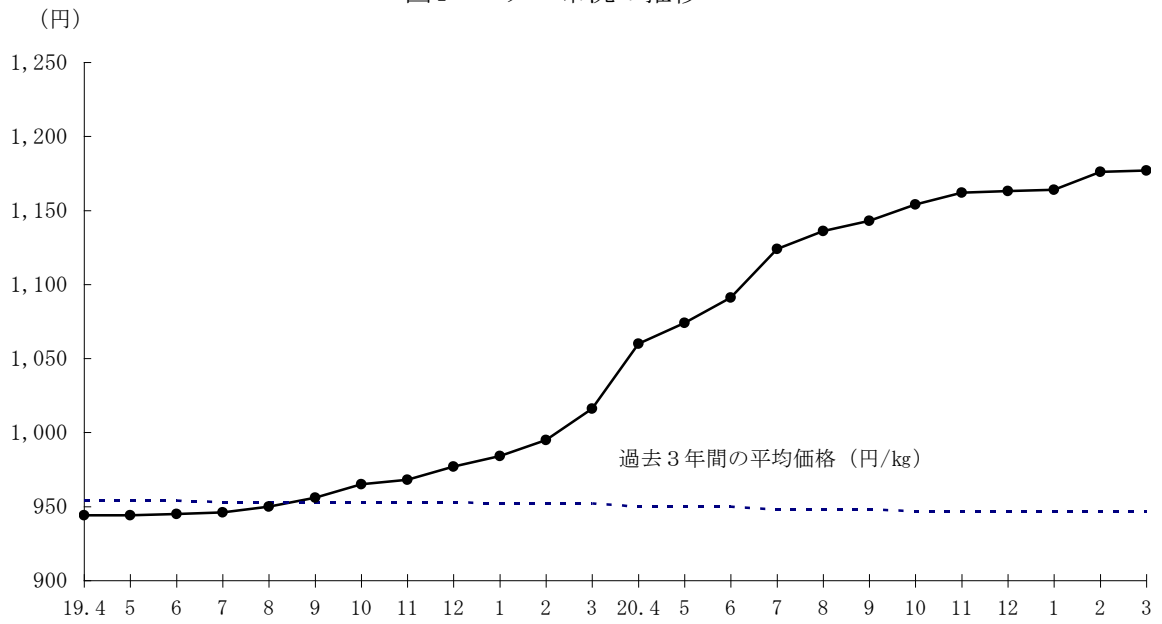
資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

エ 指定乳製品の価格動向

バターの市況（大口需要者向け価格：農林水産省牛乳乳製品課調べ、以下同じ。）は、生産量が減少して推移したこと等から、20年度以降も軒並み前年を上回って推移し、年度末においては1,177円/kg（前年度比115.8%）となった。

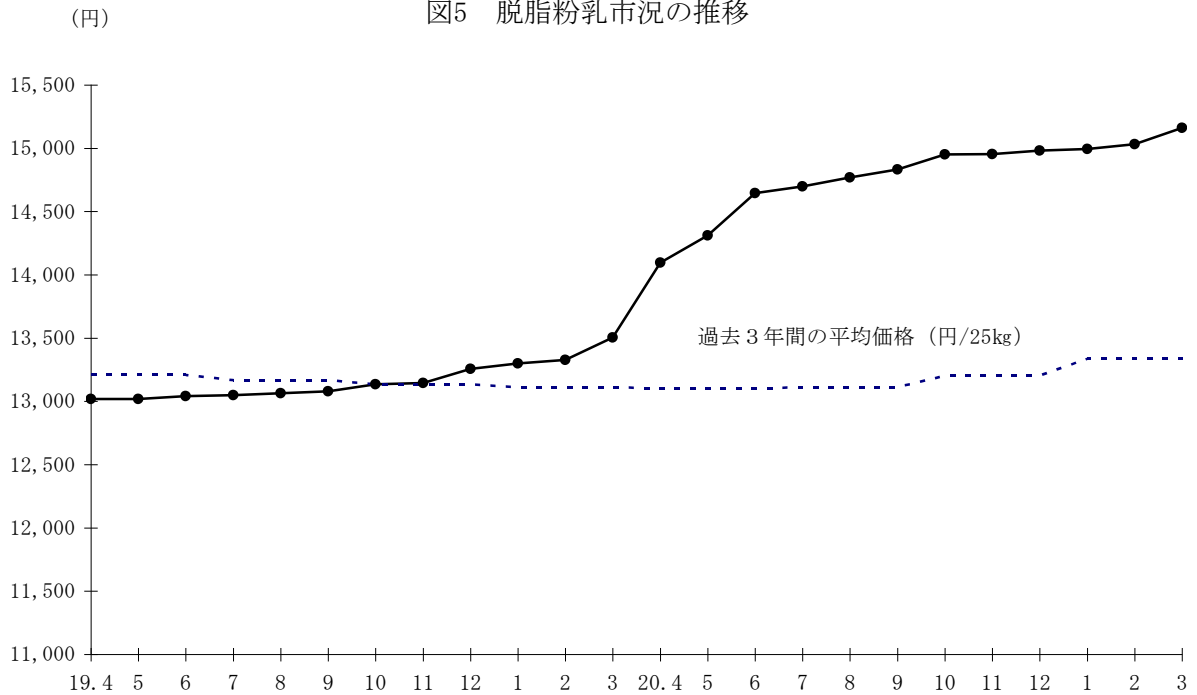
脱脂粉乳の市況も、バターと同様の傾向を示し、20年度に入ってから軒並み前年を上回って推移し、年度末においては15,160円/25kg（同112.3%）となった。（図4、図5参照）

図4 バター市況の推移



注：価格は、消費税込みの価格である。以下同じ。

図5 脱脂粉乳市況の推移



注：価格は、消費税込みの価格である。以下同じ。

(2) 指定乳製品等の輸入及び売渡し

バターについては、20年度のカレントアクセス分として前年度の20年1月に前倒しで輸入入札を実施したほか、20年4月に輸入入札を行い、20年5月から21年1月にかけて現品を売り渡した(4月から11月までの間の売渡しには、前年度のカレントアクセス分として輸入したものを一部含む)。

また、バター向け生乳処理量の大幅な減少に伴うバターの生産減、国際価格の急騰による需要の国産へのシフト等を背景に、国産バターの価格が著しく騰貴していたことから、6月及び8月に農林水産大臣の承認を受け、7月及び8月に合計5千トンの追加輸入を行った(うち4,500トンは、同時契約による輸入業務委託・売渡入札方式(SBS)で実施)。SBSについては、引渡期限を8月から10月に設定し、SBS以外の現品については、8月から12月にかけて売渡しを行い、国産及びカレントアクセスで不足する供給分を補った。

バター以外のカレントアクセス分については、SBSによりホエイ及び調製ホエイ4,500トンの輸入業務委託・売渡契約を締結した。また、機構以外の者に係る指定乳製品等の輸入(TEによる輸入)については、買入れ・売戻しの件数は631件で、その数量は1,176トンとなった。

第 8 表 指定乳製品等の輸入入札・検収状況

入札年月日	品目	輸入入札数量	落札数量	検収数量	備考
19.06.12	バター	6,625 トン	6,625 トン	42 トン	19年度カレントアクセス分
19.12.13	バター	869 トン	869 トン	785 トン	同上
20.01.30	バター	4,000 トン	4,000 トン	3,936 トン	20年度カレントアクセス分
20.04.23	バター	4,625 トン	4,625 トン	4,548 トン	20年度カレントアクセス分
20.07.04	バター	500 トン	500 トン	495 トン	20年度追加輸入分

第 9 表 指定乳製品等の売渡入札状況

入札年月日	品目	売渡入札数量	落札数量	備考
20.04.09	バター	177 トン	177 トン	19年度カレントアクセス分
20.05.15	バター	697 トン	697 トン	19、20年度カレントアクセス分
20.06.11	バター	628 トン	628 トン	同上
20.07.17	バター	847 トン	847 トン	同上
20.08.14	バター	1,352 トン	1,352 トン	20年度カレントアクセス分、20年度追加輸入分
20.09.11	バター	1,810 トン	1,810 トン	19、20年度カレントアクセス分、20年度追加輸入分
20.09.30	バター	376 トン	339 トン	同上
20.10.16	バター	403 トン	403 トン	19、20年度カレントアクセス分
20.11.13	バター	474 トン	288 トン	19、20年度カレントアクセス分、20年度追加輸入分
20.11.28	バター	1,998 トン	899 トン	20年度カレントアクセス分、20年度追加輸入分
20.12.11	バター	1,683 トン	1,275 トン	同上
20.12.19	バター	1,270 トン	1,037 トン	同上
21.01.14	バター	233 トン	233 トン	20年度カレントアクセス分

第 10 表 バターの売買状況

品目	期首在庫	買入数量	売渡数量	期末在庫
バター	177 トン	9,806 トン	9,983 トン	0 トン

第 11 表 バター（SBS方式）の売買状況

入札年月日	入札数量	落札数量	売買数量	備考
20.07.09	2,500 トン	2,500 トン	2,488 トン	20年度追加輸入分
20.08.20	2,000 トン	2,000 トン	1,987 トン	20年度追加輸入分
計	-	-	4,474 トン	

注：端数処理の関係で個別の数量の合計と計が一致しない。

第 12 表 ホエイ及び調製ホエイ（S B S 方式）の売買状況

入札年月日	入札数量	落札数量	売買数量	備考
19.11.20	3,764 トン	2,557 トン	1,711 トン	19 年度カレントアクセス分
20.05.28	2,250 トン	2,250 トン	2,238 トン	20 年度カレントアクセス分
20.11.26	2,250 トン	2,250 トン	1,758 トン	同上
計	-	-	5,707 トン	

第 13 表 デイリースプレッド（S B S 方式）の売買状況

入札年月日	入札数量	落札数量	売買数量	備考
18.12.13	2,000 トン	2,000 トン	5 トン	18 年度カレントアクセス分
19.10.25	900 トン	900 トン	722 トン	19 年度カレントアクセス分
19.12.04	900 トン	900 トン	852 トン	同上
計	-	-	1,580 トン	

注：端数処理の関係で個別の数量の合計と計が一致しない。

2 指定食肉

(1) 牛肉

東京及び大阪の中央卸売市場における牛枝肉省令規格(去勢牛「B-2」及び「B-3」)の加重平均卸売価格は、18年度は、前年度が高水準であったこと等から、前年度より3.3%低下し1,292円となった。

19年度は、生産量が増加したこと等から、前年度より8.2%低下した。

20年度は、生産量の増加や景気後退の影響から前年度より8.7%下落したが、年度を通じて安定基準価格を上回って推移したことから、機構による買入れ等の措置には至らなかった。

第13表 牛枝肉卸売価格の推移

年度・月	省令価格（去勢牛肉「B-3」及び「B-2」）	
	東京・大阪加重平均	
	価格 (円/kg)	対前年比 (%)
平成16年度	1,256	115.5
平成17年度	1,336	106.5
平成18年度	1,292	96.7
平成19年度	1,186	91.8
平成20年度	1,083	91.3
20年4月	1,175	94.1
5月	1,158	94.6
6月	1,076	92.8
7月	1,066	91.1
8月	1,056	91.0
9月	1,062	91.4
10月	1,085	94.2
11月	1,049	90.3
12月	1,105	88.2
21年1月	1,080	91.3
2月	1,047	89.8
3月	1,025	87.2

資料：農林水産省「食肉流通統計」

注：消費税込みの価格である。

(2) 豚肉

東京及び大阪の中央卸売市場における豚枝肉省令規格（「上」以上）の加重平均卸売価格は、18年度は、前年度より1.3%上昇し479円となった。

19年度は、需要が引き続き堅調であったことから、前年度より8.4%上昇して推移した。20年度は、下半期に入り、生産量の増加等から前年度より4.4%下落したが、年度を通じて496円となり、機構による買入れ等の措置には至らなかった。

第 14 表 豚枝肉卸売価格の推移

年度・月	省令規格	
	東京・大阪加重平均	
	価 格 (円/kg)	対前年比 (%)
平成 16 年度	474	107.2
平成 17 年度	473	99.8
平成 18 年度	479	101.3
平成 19 年度	519	108.4
平成 20 年度	496	95.6
20 年 4 月	553	115.7
5 月	564	113.0
6 月	602	110.7
7 月	597	107.4
8 月	577	102.5
9 月	525	97.9
10 月	424	88.1
11 月	417	89.3
12 月	459	87.6
21 年 1 月	389	85.1
2 月	428	76.7
3 月	425	73.3

資料：農林水産省「食肉流通統計」

注：消費税込みの価格である。

3 鶏卵

鶏卵の平均卸売価格（東京、M規格）は、18年度は、国内生産量が増加傾向にあったことから、前年度より 1.1%値下がりした。

19年度は、生産量が増加したことから、前年度より 9.2%値下がりした。

20年度は、需要減少により年度後半に下落したものの、生産量が前年を下回ったことから年度を通じては前年度より 15.6%値上がりし、機構による調整保管等の措置には至らなかった。

なお、(社)全国鶏卵価格安定基金及び(社)全日本卵価安定基金による価格差補てん事業では、20年度は6月、21年1月から3月に標準取引価格が補てん基準価格を下回り、両基金から総額 86 億 7,093 万円の補てん金が事業参加生産者に交付された。

第 15 表 鶏卵価格の推移（東京、M 規格）

月	卸売価格				鶏卵価格安定制度の発動状況			
	19年度		20年度		19年度		20年度	
	東京 「M」 (円/kg)	対前年 比 (%)	東京 「M」 (円/kg)	対前年 比 (%)	標準取 引価格 (円/kg)	補てん 単価 (円/kg)	標準取 引価格 (円/kg)	補てん 単価 (円/kg)
4月	168	91.3	193	114.9	167.05	0	188.80	0
5月	168	91.3	195	116.1	166.90	0	192.31	0
6月	154	90.1	185	120.1	152.58	12	182.18	2
7月	145	94.2	193	133.1	145.70	18	193.39	0
8月	157	99.4	196	124.8	160.62	4	198.25	0
9月	166	88.8	216	130.1	177.08	0	219.51	0
10月	170	83.3	211	124.1	175.28	0	212.03	0
11月	175	84.1	205	117.1	174.65	0	203.34	0
12月	186	82.3	207	111.3	182.37	0	204.21	0
1月	135	86.0	149	110.4	129.36	32	140.13	45
2月	190	98.4	186	97.9	188.11	0	179.90	9
3月	195	106.6	180	92.3	191.78	0	170.25	18
平均	167	90.8	193	115.6	169	—	190	—

資料： 全農「畜産販売部情報」

注1： 卸売価格は消費税を含まない。

注2： 鶏卵価格安定制度の平均欄は補てん基準価格